

# 宇佐高田医師会病院・地域成人病検診センター建設基本計画【概要版】

## 1 本計画の位置づけ（基本計画より）

医師会病院・昭和56年4月宇佐市、豊後高田市の地域医療の拠点病院として開院。令和3年11月に40年が経過。

また、医師会病院の機能としては、開放型病院として地域の医療機関からの紹介患者を中心に第二次救急指定医療機関やへき地医療拠点病院、災害拠点病院、第二種感染症指定医療機関など多岐に渡ってその役割を果たしている。

令和2年には、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行がおり、この地域でも新型コロナウイルスがまん延し、医師会病院は北部医療圏における唯一の第二種感染症指定医療機関として役割を果たしているが、従来の医療機能に加え、新たな感染症に対する備えも今後さらに強化する必要がある。

検診センター・平成2年5月地域・職域の健康増進の役割を担う地域成人病検診センターを医師会病院に併設した。

こうした状況を踏まえ、新医師会病院に期待される役割、基本構想を取りまとめ、新病院の目指す病院像などの全体計画、施設規模や配置などの建設計画、外来や病棟をはじめとする各部門の部門別計画、医療機器整備計画、人員計画などの管理運営計画、そして財政計画について提示する。

## 2 目指す病院像と重点機能（全体計画より）

### ■目指す病院像

- ①地域医療支援・共同利用型病院
- ②平日夜間・休日救急センター
- ③災害拠点病院・災害時避難施設
- ④ヘリポート
- ⑤第二次救急医療機関
- ⑥第二種感染症指定医療機関
- ⑦へき地医療支援拠点病院
- ⑧検診センター
- ⑨在宅医療・介護連携支援センター
- ⑩医療就労者支援センター
- ⑪職員が誇りとやりがいを持ち働きやすい病院

### ■新病院の重点機能

- (1) 重要疾病等への対応
  - (2) 重要事業への対応
  - (3) 感染症対策の取組
  - (4) チーム医療体制の充実
- ①心血管疾患医療
  - ②がん医療
  - ③腎臓病医療
  - ④呼吸器疾患医療
  - ①救急センター
  - ②内視鏡センター
  - ③ハートセンター
- ①救急医療
  - ②災害医療
  - ③へき地医療
  - ④検診事業

## 3 施設整備の基本的な考え方（建設計画より）

### ■患者、検診受診者中心の施設整備

- ・様々な利用者に対応できる施設を整備
- ・医療安全、感染管理及びプライバシーの保護に配慮

### ■スマートホスピタル

- ・AIの活用により患者の利便性の向上、医療従事者の負担軽減
- ・ICTを活用して患者や関係機関との円滑かつスピーディな情報伝達や病院の管理

### ■災害に強い施設整備

- ・災害時のライフラインの確保
- ・災害後の病院機能の維持

### ■患者ケアがしやすい機能的な施設整備

- ・機能的な施設配置
- ・効率的な業務動線の確保

### ■経済性を考慮した施設整備

- ・維持管理費の軽減を考慮
- ・省エネルギー化により、コストと環境負荷を軽減

## 4 施設規模と配置計画（建設計画より）

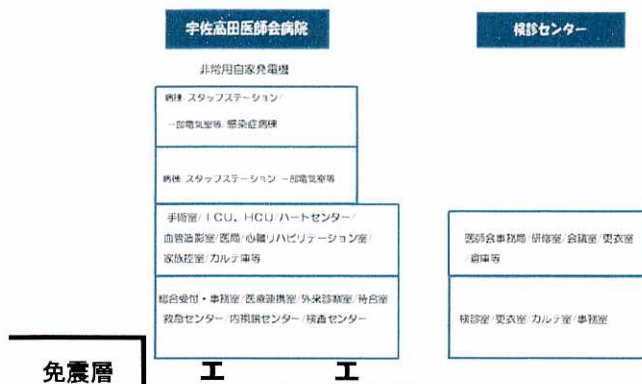
- 病床数：急性期一般病床100床程度  
感染症病床4床程度

- 延床面積：病院6,300㎡（60㎡/床）程度  
検診センター1,800㎡程度

- 建物：病院棟（RC造4階建、免震構造）  
検診センター・複合棟（S造2階建）

### ■配置計画

配置計画については、建設費・工期、患者動線、設計の自由度および周辺交通への影響等を考慮し、引き続き検討する。



## 5 整備スケジュール（建設計画より）

年度

工程	H29～H30	R1～R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
基本構想	→							
基本計画		→						
基本実施設計				→				
本體工事						→	→	→
付帯工事							→	→
外構工事							→	→
開院								●

## 6 各部門における新たな取り組み（部門別計画より）

### ■患者にわかりやすい外来部門

- ・患者にとってわかりやすくかつ短い動線となるように配置することで、スムーズな案内が可能

### ■救急病床（オーバーナイトベッド）の設置

- ・緊急に入院を要するとされた患者を一時的に救急病床にて受け入れることにより、翌日のスムーズな入院の移行が可能

### ■手術室の拡充（将来的な可変性）

- ・手術室は2室
- ・ハイブリッド手術室や手術ロボットの導入を見据え、将来的に拡張を想定した配置

### ■検診（人間ドック等）施設や検診内容の充実

- ・地域の検診（乳幼児から成人まで）体制の充実
- ・子育て世代、定年退職後、若年層の検診内容の充実  
宿泊ドック・脳ドック等内容の充実

## 7 医療従事者の人材確保（管理運営計画より）

### ■基本方針

- ・優れた医療従事者の育成
- ・健全経営を目指し、業務量に対応した適切な人員配置
- ・常に質の高い医療提供のための労働環境を整備

### ■働きやすい環境の整備

- ・勤務環境の整備
- ・福利厚生施設の整備

### ■医師の確保

- ・より質の高い医療の提供を図るため、必要十分な医師の確保

### ■看護師の確保

- ・第二次救急医療機関の救急病床に対応した看護師の配置を適切に行うなど、急性期医療に必要な看護師を確保

### ■医療技術者の確保

- ・業務量の増加が見込まれる部門の医療技術者の確保

## 8 事業費（財政計画より）

- 概算事業費 事業費は今後の建設物価変動により変動（増減）する可能性があり、引き続き事業費の精査に努めていく。また、検診センターに関して、移転先の既存の建物を活用できる場合には、活用も視野に入れて検討する。

項目	金額
1. 設計管理料	2. 4億円
2. 本體建設工事費	38. 3億円
3. 医療機器整備費等	9. 3億円
合計（税込）	約50. 0億円

- 財源内訳 新病院の財源は、銀行借入金や医師会病院建設基金で賄い、国・県や市の補助金を活用する。